

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)令和4年

討議年月日:令和 5年 4月 5日

公表:令和 5年 4月 7日

事業所名 健生神沢こども発達支援室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		10人でも余裕のある空間がある	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準の人数より多く配置しより手厚く支援、指導できるようにしている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		何事も自分でできるように位置高さ場所を配慮して設置してある	成長や状況に応じて対応していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日必ず清掃を行い適宜塩素等を使用して床の消毒を行っている	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月指導計画を職員間で作成し共有している	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページ上で公開している	SNS等を利用して広く発信していきたい
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		3年後を目途に実施予定
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各種研修を案内し参加を促している。研修費交通費の全額及び一部を補助	全職員の保育士資格取得を目指す
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		専門職と連携しながらアセスメントや支援計画等を作成している	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		誰でも分かるよう簡潔な内容となっている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		専門職と連携しながら支援内容を設定している	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		専門職と連携し、定期的に支援内容を評価している	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月間指導計画を関係職員で必ず作成している	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		前月の反省を踏まえてプログラム内容を変えている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		月間指導計画の中で集団・個別目標を設定し支援を行っている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		月間指導計画の中で大まかに内容把握し朝夕のミーティングで共有している	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングノートに記録している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		体調、様子を毎日記録している	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月に一度支援会議を行いその中で見直している		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的には児童発達支援管理責任者が全てに参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今後も法人内の保育園や地域の保育園等と情報共有しながら連携していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		文章や電話でのやり取りを行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童部会の中で行っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		グループ内の保育園児との交流を盛んに行っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		必ず参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に必ず保護者と状況や課題を伝えあっている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		送迎時もしくは求めに応じ行っている	送迎時や面談時に気軽に相談できるよう広く悩み相談を受け付ける
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時やその都度丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やその都度丁寧に説明し同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時に必ず保護者と話す機会を設け依頼があれば別途時間を設け実施している	送迎時や面談時に気軽に相談できるよう広く悩み相談を受け付ける
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在は行っていないが過去に進学説明会や親子教室、食事会を開催していたため、再び実施する機会を考えている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページやメールを通じて発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて保存している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		信頼関係を築き何でも話せる関係を築くようにしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきたい

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者への周知を徹底していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	3日分の食料も備蓄してある	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	発生した時点ですぐに作成し共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当者なしだが契約書に記載し説明している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5年 4月 7日

事業所名 健生神沢こども発達支援室

保護者等数(児童数)14

回収数 12 割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			1	STが充実していてよい と思います	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11			1		どんな場所にも対応できるように普遍的な空間にしている
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12					
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12					
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12					
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	1		1		活動内容をしっかりと周知していく
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			3		時機を見て増やしていく
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1		1		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	7	3	1	1		電話やオンラインを活用して機会を増やせるようにする

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	1			お互いに共通理解ができるように確実に伝えていく	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	1		1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2		5	5	個別で十分に対応してもらっている	SNS等を活用し保護者同士の繋がりを手助けできるような機会を設ける
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	1			1	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	2			4	周知していく
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	1				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7				5	各種マニュアルを保護者へ配布予定
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9				3	周知して共有する
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	11				1	喜んで支度します
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12					親身になってくれてとても満足です

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。